

平成 21 年 6 月 17 日

武庫川流域委員会

委員長 松本 誠様

武庫川流域委員会

委員 伊藤益義

阪神連続立体交差に係る武庫川橋梁対策について

下記につき第 90 回運営委員会にてご回答をお願いします。

6 月 15 日の第 5 回減災対策委員会でまちづくり（都市計画）事業と河川対策事業との整合性について質問しましたが、県当局から武庫川橋梁の架け替えは 100 億円の事業費がかかり、手戻りのないことを確認したので、単独事業として実施したいとの回答を得ました。

しかし、武庫川橋梁の河川対策内容の説明がなく手戻りのないことを確認できませんでした。

- 1 . この地区の流下能力の増加のためには阪神橋梁の改修は現状の橋梁高さを高くし、橋脚数を減らすことが必須と考えます。この事業の概要を説明ください。
- 2 . 先日記布されたパンフレットから判断しますと、赤丸の部分は武庫川線との連絡線の位置と考えられ、橋梁の嵩上げ時には支障となり変更が必要ではなでしょうか。

兵庫県・西宮市・阪神電鉄「阪神本線連続立体交差事業」より

